



診察の風景

診察室に入ったのは91歳の患者さん。歩き方、顔色、声の調子。聴診器を当てる前に、まずはその人を“観る”。「久しぶりの雨ですね」「少しずつ春に近づいていますね」。そんな何気ない会話で診察は始まる。



居酒屋での生存確認

毎週火曜日、近くの居酒屋に仲間と集まり“生存確認”をするのが最近の恒例。自分がいばん年上だが、ここでは一人の友人として笑い合う。大学時代に野球部主将を務めた頃から変わらない「和気あいあいが好き」という気質。



趣味のゴルフ

病院から自宅は近いが、あえて車で通動する。「わけがあってね」と少し照れたように笑う理由は、大好きなゴルフだ。以前は昼休みに長門石の練習場へ向かい、50～60球打って午後の診療へ戻るのが日課だった。最近は何を痛めてお休み中だが、その話題になると少年のような笑顔を見せてくれる田中先生。

※「国手の矜持は常に仁なり」

EQUAL=イコールとは、「対等な」「平等な」や「同輩」という意味を持ちます。全ての人たちに対し、等しく『つながり』や『出会い』を、という願いがタイトルに込められています。



PROFILE

た な か ふ み お
田中 二郎さん

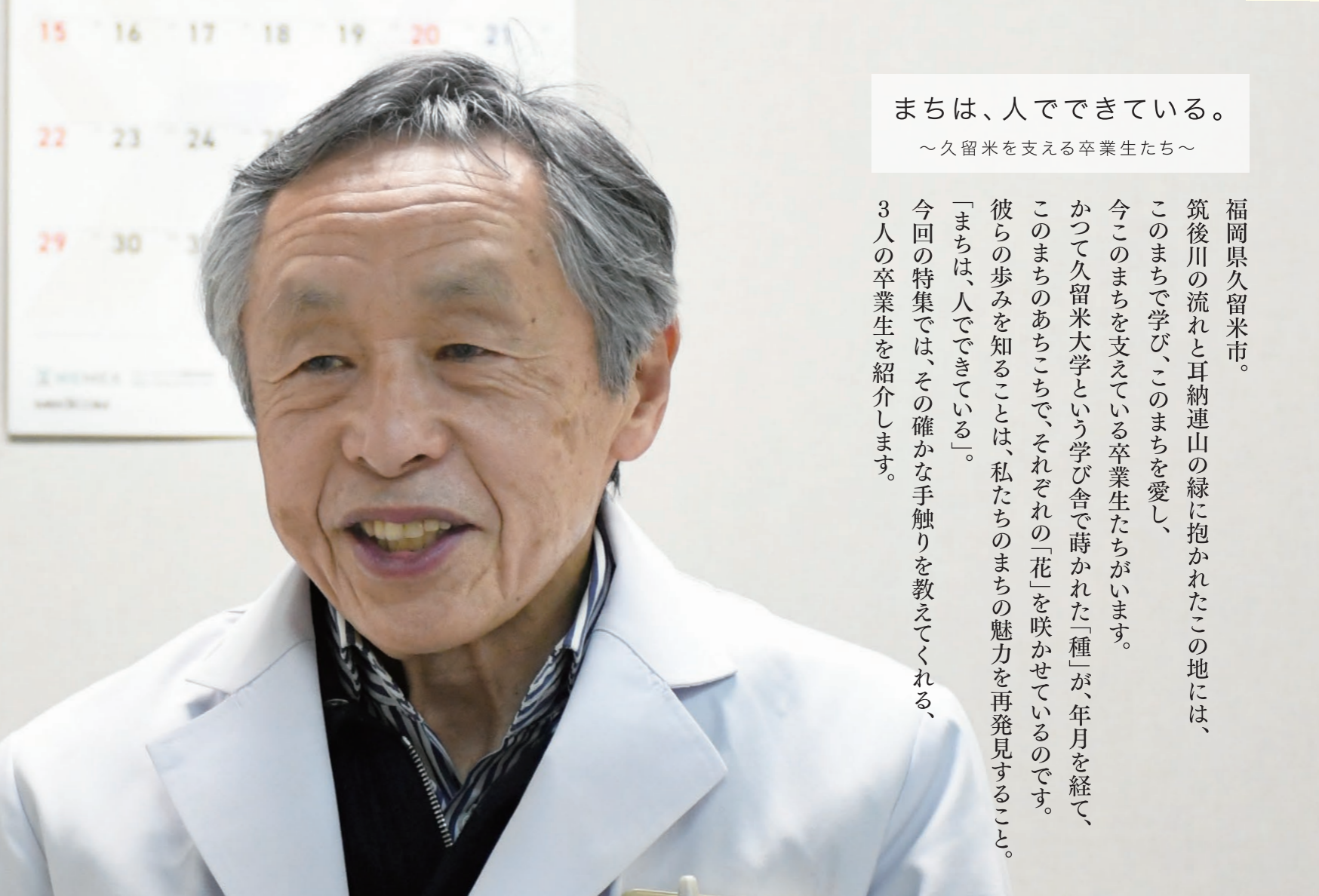
医学部医学科 1973年卒業
天神田中内科医院院長

久留米大学 公式SNS



建学の精神

国手の矜持(ほこり)は常に仁なり



まちは、人でできている。

～久留米を支える卒業生たち～

福岡県久留米市。
筑後川の流れと耳納連山の緑に抱かれたこの地には、このまちで学び、このまちを愛し、今このまちを支えている卒業生たちがいます。かつて久留米大学という学び舎で蒔かれた「種」が、年月を経て、このまちのあちこちで、それぞれの「花」を咲かせているのです。彼らの歩みを知ることが、私たちのまちの魅力を見直すこと。「まちは、人でできている」。

今回の特集では、その確かな手触りを教えてくれる、3人の卒業生を紹介します。

まずここに
相談すればいい。
チームで支える
久留米の医療

西鉄久留米駅そよのビルの4階。高架を走るアイスクリーンの電車やまちの喧騒を遠くに感じる場所に、「天神田中内科医院」はある。院長の田中二郎先生は、地域に根ざした内科医として、また元久留米医師会会長として、長年このまちの医療を支えてきた。

「三郎」はなかなか正しく読んでもらえないらしく、親しい人からは「じさちゃん」と呼ばれている。唯一正しく読んだのは高校の国語の先生だけで「さすがだなあと思いましたよ」と先生は笑う。医局に入ったばかりの頃、父親が「ふみお先生はいらっしゃいますか」と尋ねたところ、「いません」と言われたこともある。「もう訂正することもないし、本名で呼ばれたのはいつかもわからない」と話すその表情に、先生の温かな人柄が滲む。

久留米は医師数が全国平均の約2倍という有数の「医療のまち」だ。この恵まれた環境で田中先生が掲げたのは、医療を通して「くらしやすいまち」づくりだった。生活に欠かせない「衣食住」の「衣」を「医」に置き換えた「医食住」という発想。医療を特別なことではなく、日常の安心を支える基盤として捉える考え方だ。

「まずここに相談すればいい」と思ってもらえる場所であればいいんです。だけど「なんでも屋」のようで、実はそうじゃない。自分一人を抱え込まず、必要があればすぐに専門医へつなぐ。みんなで連携して、一つのチームとして患者さんを診る。それがこの医療のまち久留米の強みです」

個の力に頼らない。役割を持った「なんでも屋」たちが、チームとして支える。それが田中先生の目指す医療のカタチだ。高度医療があり、地域医療がある。その間に壁はない。顔の見える連携が、このまちの日常を守っている。

その姿勢の根底には、久留米大学の「建学の精神」へとつながる、初代校長・伊東祐彦先生の教えがある。「聴診器がなくとも、薬がなくとも、手があり、目があり、口がある。そばに行っても苦痛を和らげるのが本当の医者だ」医師を志す学生の胸に刻まれてきたこの言葉は、「いつでも来ていい、なんでも相談してほしい」という仁の精神を受け継ぎ、同じ志で育った仲間たちによる最強のチームとなって、今もこのまちで力強く息づいている。

先生は今年で78歳。「現役はいつまで」と尋ねると少し間を置いてこう答えた。

「患者さんに『もう診てもらわなくていいです』と『言われるまじ』ってかわね」

風に流されるようにのんびりと。それでも気づけば、長く同じ場所に立ち続けている。まちの音を聞きながら、今日も誰かの暮らしを診る医師が、ここにいます。

CONTENTS(目次)

01	まちは、人でできている。 ～久留米を支える卒業生たち～	12	活躍する卒業生 食べるチカラ!
05	創立100周年に向けた学内ワークショップ	13	シリーズ医療
07	2026年度 先生紹介	14	～看護部発「高齢者見守りたい(隊)」の挑戦～
08	ようこそ!研究室へ	15	附設だより
09	拝啓 17歳の私	16	最終講義
10	Clubs & Circles / 留学生必携EXPO	17	事務室からのお知らせ
11	就職通信	18	寄付者ご芳名
		19	Topics
		21	まちとアルK / SDGs × 久留米大学
		22	INFORMATION

農業は、クリエイティブ。

「アイデア次第で広がる可能性」



まちは、人でできている。
～久留米を支える卒業生たち～

PROFILE
なが お こう き
長尾 幸起さん

経済学部経済学科2007年卒業
長尾農園代表
https://www.nagao-farm.com/
Instagram: @nagao_farm_



HP



Instagram

久留米の中心部から南へ車を走らせること約20分。景色はいつしか穏やかな田園へと変わり、遠くには脊振の山々が連なる。澄んだ朝の空気に鳥の音が響く、車のドアを開けた瞬間、ふわりと甘い香りが鼻をくすぐった。

「ここ三浦町で福岡の特産「あまおう」を育てるのが、長尾農園代表の長尾幸起さんだ。卒業後、JA勤務を経て、地元農家のもとで研修を重ね新規就農した。今期で11年目を迎える。「なぜいちごだったのか」と問うと、「地元の特産があまり多かったから。もしメロンが特産だったら、今ごろメロンを作っていたと思いますよ」と長尾さんは屈託なく笑う。

「11年やっても分からないことはあります。去年出た病気が今年はない、その逆もあるけれど、いちごも人と一緒なんです。苗が水を欲しがっているときに水をやり、お腹が空いているときに肥料をやる。満腹のときに与えずれば、病気になるってしまふ。小さな変化を見逃さず、最適なタイミングを外さない。そう語りながら苗を見つめる長尾さんの姿は、まるで我が子の成長を見守る親のようだ。

「正直、大変です」と農業の厳しさも隠さない。けれど、その瞳は新しい農業の姿を見据えている。1丁の活用や6次産業化。かつては孤独なイメージの強かった畑仕事も、いまは発信や工夫次第で広がりを持つ仕事へと変わりつつある。「やり方はひとつじゃない。アイデア次第で、面白くてもいい」



農業初体験の両親と

「頑張ってるなーと思いますよ」と話す母・忍さん。「身体も動かして運動にもなるし、いいでしょ」と笑って返す長尾さん。両親にとっても農業は初めての経験。いちごハウスにはどこか穏やかで温かい家族の時間も流れている。



おいしいいちごのサイン

「大きい方がおいしいですよ」と長尾さん。真っ赤に色づき、表面にハリとツヤがあるもの。そして裏まで赤く色づいているのが食べ頃のサイン。口に含んだ瞬間にあふれる果汁と、鼻に抜ける力強い香り。それはまさに、幸せの味。



その言葉には、これからの農業への確かな手応えがにじむ。食口を減らす取り組みとして始めたキッチンカーでの加工品販売は、御井キャンパスでも実現した。いちごスムージーを手に、ゆっくり語り合う後輩たちの姿を見て、「スタバみたいだなあって嬉しくなりました」と長尾さんはふりかえる。

さらに今年7月には、キャンパス近くに小さな店をオープンする予定だという。店名は「Yori dokoro」。

そんな長尾さんは最近、英語の学び直しを決めた。きっかけは、大学を訪れたカナダからの研修生への講義を担当したことだった。

「通訳の方がずっと隣にいてくれて。私も、英語で自分の気持ちを伝えたいなと思ったんです」

畑に立ち続けながら、自らもまた学び、更新し続ける。

ちようどいい暮らしの魅力。

「久留米の「ほとめき」を届ける」



まちは、人でできている。
～久留米を支える卒業生たち～

PROFILE
う え だ き ほ
上田 季歩さん

文学部国際文化学科
英語コミュニケーション専攻2015年卒業
久留米観光コンベンション国際交流協会
誘致・広報課
久留米公式観光サイト: https://welcome-kurume.com
Instagram: @kurumetsutsujimarch



久留米公式
観光サイト



Instagram

上田さんの仕事は、直接観光客の前に立つておもてなしをすることではない。ホームページの運営や公式SNSでの発信、メディアへのPRなど、いわば「広報」の立場でまちの魅力伝える役割だ。ホームページやSNSの運用は難しくもあるが、ちよっとしたきっかけで急に注目が集まる面白さもある。最新情報をいち早く、どうすればより届くのか、工夫を凝らす時間が結構楽しいのだと彼女は話す。

「観光客の方に直接声をかける機会は少ないけれど、おもてなしをする現場の方々が困らないよう、情報を整えておきたいんです」

取材に訪れたのは梅の季節。上田さんは梅林寺を訪れ、自らの足で開花状況を確認していた。写真は盛りすぎず、ありのままを。その確かな情報があるからこそ、案内所のスタッフも自信を持ってお客様を導くことができる。それもまた、一つのほとめきの形だと思ふんです」



ありのままを届ける現場の視線

宮ノ陣神社の境内、上田さんは来訪者に笑顔で声をかける。「ここにはよく来られるんですか?」。まちの人の声を拾い、次の誰かへ手渡す。彼女が集めた情報は、観光案内所や市役所のスタッフと共有され、訪れた人が求める「生きた情報」へと変わっていく。

上田さんは生まれも育ちも久留米。卒業後は航空会社へ就職しグランドスタッフとして空の玄関口を支えた。結婚出産を経て、社会復帰の場として選んだのは、かつて高校時代にモテテ親善大使として関わった今の職場だった。彼女は、磨いてきた英語力を生かして海外からの問い合わせにも丁寧に応じている。

お気に入りの場所はどこかと聞くと、「こつておきの場所がある」と案内してくれた。筑後川沿いの土手。菜の花の向こうに耳納連山が広がる風景だ。一度離れて戻ってきたからこそ、このまちの心地よさがわかると彼女は言う。「都会すぎず、田舎すぎない。ちようどいい暮らしができるんです」。

SNSを見て「行きたい」と思い、案内所で情報を聞き、まちを歩く。その幸福な循環のどこかに、いつも上田さんの仕事が見え隠れしている。誰かが誰かのために整え、つなぐ。その静かな積み重ねの中に、今日も久留米大学の卒業生がいる。今日もどこかで、誰かの「ちようこそ久留米へ」の裏側に、静かなほとめきが息づいている。

偶然の出会いも、まちの力に

梅林寺で移動販売をしていたお茶屋さん
に声をかけ、情報収集を行う上田さん。話を
伺うと、なんと彼女も久留米大学の卒業生。
「ほとめき」の現場で再会した同級生。こう
した偶然のつながりも、今日もこのまちを
あたたかく支えている。



久留米大で過ごした 最高の学生時代

高校生までは水泳に打ち込み、大学時代
は国際交流サークル「ユニバス」に所属。
大学祭で当時はまだ珍しかったタピオカ
ドリンクを販売した日々を「私たちがブーム
を作ったかも」と茶目っ笑ったぷりに振
り返る。

Workshop
これからの社会環境やこれまでの学外インタビュー調査の結果について共有

02



Workshop
午後からは「未来の久留米大学らしさ」についてディスカッション

04



いらなところ、新しく必要だと思う要素、変わらない価値について考える



過去の輪、未来の輪のフレームをもとに、未来の久留米大らしさをストーリーを全体に共有



過去の輪、未来の輪のフレームをもとに、未来の久留米大らしさをストーリー化

Workshop
KJ法とAI「KAISE」



ワークショップでは、KJ法を用い、「個人で考える→グループで共有→全体で共有」というプロセスを重ねながら、多様な意見を整理・可視化しました。

AIの評価と会場の投票結果がほぼ一致!



さらに、医学教育研究センターの柏木教授が活用を検討しているAIシステム「KAISE」を活用。付箋を撮影して取り込んだデータをAIが即時に分析・分類してくれます。結果をその場で共有しながらグループワークを進めました。

Workshop
レゴブロックを使ってアイスブレイク
自分“らしさ”を形で表現しチームに共有

01



Workshop
「今の久留米大学らしさ」について考えます

03



ここからグループワーク開始!

国手の勢持は常にになり



らしい要素を形容詞にまとめて、付箋に貼ってチームで意見交換

Workshop
未来の地域と学生のための久留米大学らしさについて考える

05



こっちは投票!

「学生のニーズを満たしている」「社会課題の解決に貢献している」と思える【未来の久留米大学らしさ】に投票

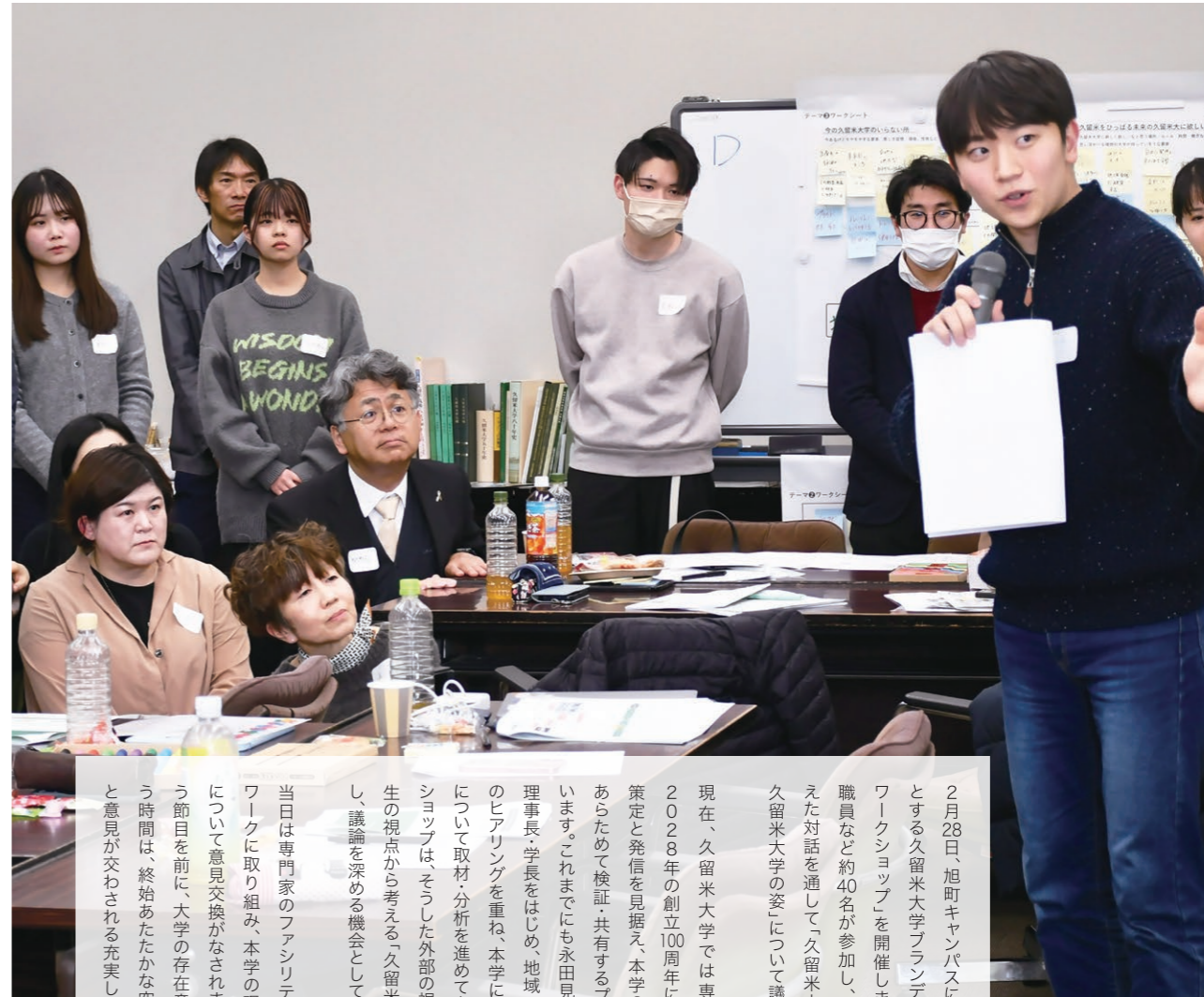


志は時を越えて。
1928 2028
100th Anniversary

ワークショップのゴール

～久留米大2036～

未来の久留米大って、? な大学だ。



2月28日、旭町キャンパスにて「創立100周年を契機とする久留米大学ブランディング推進に係る学内ワークショップ」を開催しました。当日は学生・教職員など約40名が参加し、立場や職種・年代を越えた対話を通して「久留米大学らしさ」や「将来の久留米大学の姿」について議論を深めました。

現在、久留米大学では専門家の協力のもと、2028年の創立100周年に向けたブランド価値の策定と発信を見据え、本学の存在意義や将来像をあらためて検証・共有するプロジェクトを実施しています。これまでも永田見元理事、内村直尚理事長・学長をはじめ、地域・企業等の学外有識者へのヒアリングを重ね、本学に寄せられる期待や評価について取材・分析を進めてきました。今回のワークショップは、そうした外部の視点に加え、教職員や学生の視点から考える「久留米大学らしさ」を言語化し、議論を深める機会として実施されたものです。

当日は専門家のファシリテートの元、さまざまなワークに取り組み、本学の現在地とこれからの姿について意見交換がなされました。創立100周年という節目を前に、大学の存在意義や将来像を語り合う時間は、終始あたたかな空気に包まれ、のびのびと意見が交わされる充実した一日となりました。



「久留米大学らしさ」を探る——
創立100周年に向けた学内ブランディングワークショップ

ようこそ! 研究室へ
Welcome to Our Lab
FILE.22



中国経済は
おもしろい



アサヒくん
こども特派員

経済学部経済学科

小原ゼミ

(前列中央) 小原 江里香 准教授

アサヒくん(以下) ア 小原先生、こんにちは。ボク、経済学部のゼミに来るのははじめてです。
小原江里香准教授(以下) 小 ようこそ、アサヒくん。我々のゼミでは中国の経済や、日本と中国との貿易について研究しています。
ア 中国経済！ ニュースでよく聞けど、なんだか難しそうですね……
小 ふふ、実はとっても身近なのよ。アサヒくん、そのiPadを見てみて。アメリカのメーカーだけど、実は中国の工場で作られているんです。中国は「世界の工場」と呼ばれていて、世界中の工業製品の多くは中国で作られています。
ア えっ、これも中国製なんですか。
小 そうなの。驚くべきことに私が学生だった頃に比べると、中国の経済はわずか20年ちよつとで10倍以上も大きくなったの。昔は移動手段として誰もが自転車を利用していましたが、今では世界最先端の電気自動車や自動運転自動車街を走っていますよ。
ア 20年で10倍!?
小 中国は急激に成長したから、現在都会と田舎の格差が広がったり、環境問題が起きたりもしています。私の研究では、出稼ぎで都会に来た人たちがどうやって生活を安定させるかや、最近増えているお年寄りのケアをどうするかについても調べているの。
ア へえ、中国もいろいろ大変なんですね。ほかにもこのゼミではどんなことをしているんですか?
小 2年生は気になるトピックを題材にして発表の練習をします。3年生になると、実際に中国でビジネスをしている日本の

世界の工場・中国と日本のつながりを探る！

会社の人や、日本でビジネスをしている中国の会社の人にインタビューをします。先日は愛知県にある中国のロボット企業の工場をたずねているいろいろなお話を聞いてきたのよ。インターネットだけで調べられるのではなく、「現場の本当の姿」を自分の目や耳で確かめることを一番大切にしているんですよ。
ア 実際のお話をボクも聞いてみたいです。
小 ほかに、パソコンでデータを分析したりドキュメンタリー番組や最新の動画を観たりもします。発表の準備をする時は、学生同士でアドバイスしあったり、協力して資料を作ったりするので、ゼミはいつも活気にあふれた雰囲気なんですよ。
ア でもみんなの前で発表するのって、なんだか緊張しそうですね……
小 大丈夫！ 練習すれば、自分の考えを相手に短く、分かりやすく伝える力がしっかり身につきます。この「プレゼンテーション」の力は、大人になって仕事をする時に役に立つとても大切なスキルなのよ。
ア そっか。将来、海外と関わるお仕事をする時にも必要になりそう。
小 その通りです。九州は地理的にも中国をはじめアジア諸国に近いので、注目している会社も多いの。先輩たちも、ゼミでの経験を活かして、銀行などさまざまな会社で活躍しているんですよ。
ア 中国のことを知ることは、日本のこれからを考えることにもなるんですね。小原先生、今日はありがとうございました！
小 こちらこそ、アサヒくんも、身の回りのモノがどこから来たのか、ぜひ調べてみてね！

[研究室データ]

研究テーマ (主なもの)

中国の出稼ぎ労働者が都市社会へ統合されるプロセスについて研究しています。産業構造の変化や都市化の進展に伴い、中国の都市労働市場では非正規労働が急増するなど激しい変化が続いています。こうした不安定な状況下で、出稼ぎ労働者がいかにして都市に定着し中間層へと成長していくのかを分析しています。近年は特に出稼ぎ労働者の住宅取得が働く意欲や定住意識に与える影響に着目しています。

メンバー

准教授/小原 江里香/4年生:14人/3年生:15人/2年生:20人

当研究室の
知的な好奇心旺盛な行動派

英語と中国語の習得を目指し、日々アプリや教材で学習に励んでいます。趣味はファッションで、将来の夢は「人が身につける物に関わる仕事」に就いて世界中の国へ行くこと。在学中に感性と語学力を磨いて、夢を叶えたいです。

やすなが とら つね
安永 虎玄さん



Welcome to Kurume University

2026年度

先生紹介

Professor Introduction 2026

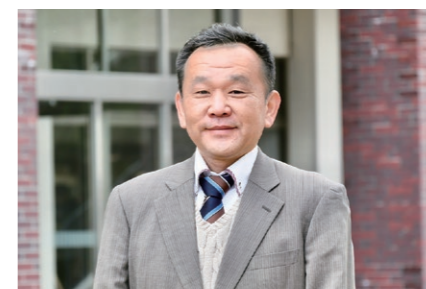


学長 内村 直尚 学長

座右の銘/好きな言葉

ネガティブ・ケイパビリティ

答えのみつからない状況に耐えられる能力のことです。学生生活は悩みや不安を感じやすい時期です。先のみえない、うまくいかない時こそ、人として成長できます。この能力を高めることが人間力を向上させます。



文学部 吉田 洋一 学部長

座右の銘/好きな言葉

書を読むは、猶物を食うが如し
(広瀬旭荘『九桂草随筆』巻之一)

広瀬旭荘(1807~63)は、日田咸宜園の創立者・広瀬淡窓(1782~1856)の末弟で、江戸時代末期の漢詩人です。読書は食事することと同様に、自分のなかでどのように生かすのが重要だと言っています。



人間健康学部 野田 耕 学部長

座右の銘/好きな言葉

意味のあることを、熱意をもって、
わかりやすく、言葉で伝える

大学での学びや地域との交流は人間と人間が互いに尊重し、言葉を交わして深まります。論理的に考え、情熱をもって行動し、「言語化」して久留米大学での学びを深めてください。



法学部 小原 清信 学部長

座右の銘/好きな言葉

私は若かりしころ、10のことを試しても
9つがうまくいかないことがわかった。
そこで10倍努力した。

アイルランドの劇作家バーナード・ショーの言葉です。努力は報われます。当てになるのは自分だけです。



経済学部 伊佐 淳 学部長

座右の銘/好きな言葉

努力に勝る天才なし

大学生生活は、いろいろなこと挑戦し、地道に努力を続けていくことで、自分自身を成長・発展させることができるチャンスに満ちています。私たちは、そのような皆さんを応援します。



商学部 金 亨洙 学部長

座右の銘/好きな言葉

『井底之蛙』を記憶している人は
多いだろうか。

いわば「井の中の蛙(かわず)、大海を知らず」。この言葉が示すように、商学部で理論と実践の両方を学び、狭い世界を乗り越え、一步勇気を出して一緒に挑戦しよう。



医学部 医学科 山本 健 学部長

座右の銘/好きな言葉

ザッハリッヒ(Sachlich)

感情や立場を超えて「事実そのものに誠実であろうとする知的態度」を一語で美しく表しており、その姿勢を大切にしたい思いから好きな言葉として選びました。



医学部 看護学科 益守 かつぎ 学科長

座右の銘/好きな言葉

沈黙

多種多様な情報が溢れている日常生活の中で、自分や他者を大切にするために自分自身の心の声に耳を傾ける時間を大切にしていきたいです。



医学部 医療検査学科 西 昭徳 学科長

座右の銘/好きな言葉

歩みを止めなければ、道は必ず拓ける

皆さんは医学や医療について多くのことを学んでいます。迷うことがあっても、歩みを止めず、仲間とともに学び続けることで、臨床検査技師としての未来はきっと拓けます。

Clubs & Circles

クラブ紹介：旭町キャンパス

医学部空手道部



- DATA
- 部員数 / 18名
 - 活動場所 / クラブハウス3階
 - 大会出場歴・試合結果 / 西医体男子個人組手準優勝、西医体女子個人組手準優勝、西コメ女子個人組手3位4位、西医体男子団体戦組手2連覇、西コメ女子団体戦組手優勝



名物メンバー紹介



ほな さん(医学科3年)

出身地
福岡県
高校時代の部活
バドミントン部
趣味
旅行



オス さん(医学科3年)

出身地
佐賀県
高校時代の部活
空手道部
趣味
ホラーゲーム

選手もマネージャーも募集しています。押忍。



医学部医学科3年
まえだ きたてる
前田 幸輝 さん

練習内容

週3日の練習のうち、2回は対人練習の組手を行い、1回は外部師範を招いて基本動作や礼節の指導を受けています。

クラブの雰囲気

明るく笑いの絶えない部活です。練習時はメリハリをつけ、先輩後輩の垣根を越えて切磋琢磨しています。

目標

九山、西医体ともに団体戦アベック優勝してみせます！

留学生必携 EXPO STUDY ABROAD

このコーナーでは久留米大学に来ている外国人留学生と、久留米大学から世界へはばたく学生を交互に紹介しています。

夢と不安を抱えて飛び込んだ韓国。高めた語学力と「自ら突破する力」が一生涯の財産に。

「語学なら挑戦できそう」と、海外の協定校も多い久留米大学を選択しました。入学後に学び始めた韓国語に魅了され、1年次に3週間の短期留学を経験し、もっと深く学びたいという思いが生まれ、1年間の長期留学を決意しました。

留学先の釜慶大学は、釜山にある国立の総合大学で、2万8千人以上が学ぶ巨大なキャンパス。当初は寮生活や学習への不安もありましたが、大学には、現地学生と留学生の交流を支援するプログラムが整備されていて、とても助けられました。グループで観光地を巡ったり、誕生日にケーキでお祝いをしてもらったりしたことは忘れられない思い出です。授業では歴史や英語も韓国語で履修。日本以上に勉強に励む周囲の熱気に刺激を受け、目標だった韓国語検定の上級合格も果たしました。

この1年で得たのは語学力だけではなく、異文化の中で自ら考え、周囲と対話し、困難を突破するタフさが身につきました。

「やっていけるかな」という不安があっても、まずは一歩踏み出す。その勇気が、自分を大きく変えてくれると実感しています。



釜慶大学 図書館

吹き抜けに恐竜の骨格模型があるここは、なんと大学図書館！



釜山の思い出

I-Friend プログラム

留学生と現地学生が日常的な交流を通して語学や文化理解を深める制度のおかげで、楽しく過ごせました。



釜山の思い出



今回は「韓国」に留学した学生！



まつもと みさきは
松本 美空羽さん

- 所属 / 文学部 国際文化学科 英語コミュニケーション専攻 3年
- 留学先 / 釜慶大学 (韓国)

拝啓 17歳の私

大学生の私から、17歳の私に向けてメッセージを送ります。

17歳の私へ

友達に恵まれて、毎日楽しく学校生活を送っていると思います。その一方で将来やりたいこともまだ見つからず、勉強も手付かずで、だんだん不安になっている時期だよわ。でも大丈夫。今の私は将来の夢も見つけて、それに向かって頑張ってるよ。新しい友達もできて楽しい大学生活を送ってる。そんな今の私があるのは、17歳の私がたくさん悩みながらも頑張ってきたからだと思う。本当にありがとう。だから焦らず、自分のペースで前に進んでね。

そして、かけがえのない高校生活を思いっきり楽しんで、たくさんの思い出を作っただらいいわ！

大学生の私より

高校時代	はまっていること お菓子作り	頑張っていること 勉強	部活(サークル) 書道部	将来の夢 医療系の仕事
大学時代	編み物	勉強とバイト	無所属	臨床検査技師

Memorable Photograph



“コロナ禍、桜の木の下で”

うちだ あおい
内田 葵さん
医学部
医療検査学科2年



17歳の私へ

バスケットボールに打ち込み、勉強では思うような結果が出ず、不安を感じている頃だと思います。高校3年生で本気で勉強に向き合い、自分なりに精一杯努力する中で、進路について悩むこともあるでしょう。でも安心してください。今の大学に進学したからこそ、素敵な先生や友人に出会い、学びを通して新たな興味を見つけることができました。教員を目指していた将来像は、システムエンジニアという夢に変わり、資格取得や就職活動にも挑戦しています。自分が思い描いていた道とは違う選択をしたとしても、その経験や出会いは、あなたにとって意義のあるものになります。自分の歩みを信じて進んでください。

大学生の私より

高校時代	はまっていること アニメ・動画視聴	頑張っていること 部活、勉強	部活(サークル) バスケット部	将来の夢 高校教員
大学時代	韓国ドラマ鑑賞、バスケット観戦、ライブ、旅行	就活、資格取得	team.csv	システムエンジニア

Memorable Photograph



“卒業式”

ましの しょう
増野 祥さん
商学部
商学科3年



活躍する卒業生

さまざまな分野で活躍されている卒業生を紹介します。



「病棟保育士」という夢を追いかけて
私の挑戦を支えてくれた

「文医融合」の学びと大学病院での経験

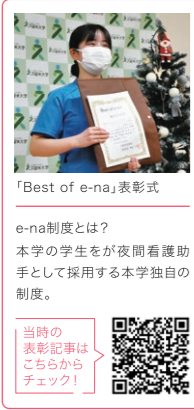
市立八幡病院 徳久 詩織さん
病棟保育士

人間健康学部 総合子ども学科 2022年度卒業

大学での出会いと学びが原点
児童心理の現場で燃え続ける情熱。

今回紹介する徳久さんは、高校時代からの夢だった「病棟保育士」として、現在北九州市立八幡病院で活躍されています。久留米大学の「文医融合」の学びや、コロナ禍での大学病院でのアルバイト経験が、今の彼女の土台となっています。一度は別の道へ進むも、自らの想いに向き合い、夢の世界へ飛び込む勇気を持てたのは、大学時代の挑戦があったからこそ。夢を形にした先輩から、自分の「好き」を信じて進む大切さを後輩たちへのエールとともに届けます。

葛藤を越えて踏み出した、
夢へのターニングポイント



「Best of e-na」表彰式
e-na制度とは？
本学の学生をが夜間看護助手として採用する本学独自の制度。
当時の表彰記事はこちらからチェック！

卒業後は地元での認定こども園に就職しました



「私の好きなもの」
寝る、食べることは私の元気の源です。
大好きな音楽をかけるのがドライブするの最近の楽しみです。

大切に、久留米大学での時間を駆け抜けてください。

しかし大学生生活はコロナ禍。2年からはオンライン授業となり、思い描いていた実習が困難となりましたが、「できない」で終わらせたくはありませんでした。そこで挑戦したのが、久留米大学病院での看護助手アルバイト「e-na(イーナ)」です。環境整備や配膳を通して看護師の方々と連携し、患者さんに寄り添う大切さを肌で感じました。2022年に「Best of e-na」として表彰された経験は、大きな自信となりました。この「現場で働いた経験」は、病棟保育士としての土台になっています。

「今できること」に挑んだ
大学病院でのアルバイト

子どもに関わる仕事の中でも、高校時代に知った「病棟保育士」について、学べる環境を探して見つけたのが久留米大学でした。決め手は、小児病棟での実習や、小児科医による講義や救急処置の実践など、他大学にはない「文医融合」の教育体制です。さらに、父が商学部の卒業生だったこともあり、父と共に久留米を歩いたオープンキャンパスは、今でも温かな思い出です。見通しの良い学びの環境が、私の夢への第一歩を後押ししてくれました。

憧れを形にするために選んだ
「文医融合」の環境



子どもたちから笑顔が手紙にはいつも元気をもらっていました。

自分らしい「保育」を追求し、
歩み続ける未来

現在は病棟保育士として、病気について学びながら入院中のお子さん一人ひとりと向き合っています。病気が闘う子どもたちや、それを支えるご家族や医療者に、少しでも安心や楽しさを持っていただけるよう笑顔でいたいと思っています。後輩の皆さんには、失敗を恐れず挑戦してほしいです。楽しい思い出も辛い経験も、すべてがいつか自分の背中を押してくれる財産になります。周りとは比べず、自分の「好き」や「想い」を大切に、久留米大学での時間を駆け抜けてください。

就職通信



年間を通じて、
学生一人ひとりに合わせた
支援行事があるよ！



本学では、学生がキャリア形成や就職活動を段階的に進められるよう、時期とステップを可視化し、**一人ひとりに合わせたサポートを徹底しています。**また、1・2年次からのキャリアガイダンスや多彩な資格取得講座も充実しており、低学年から主体的な進路選択と就業意識を育む取り組みに力を入れています。

年間行事



Annual Event!

- 4月 知る・理解する
- 5月
- 6月
- 7月
- 8月
- 9月
- 10月
- 11月
- 12月
- 1月
- 2月
- 3月 深める

全学年対象	
3年生対象	1・2年生対象
前期 就職ガイダンス	低学年次キャリアガイダンス
オープン・カンパニー、インターンシップ等ガイダンス	オープン・カンパニー、インターンシップ等エントリーシート作成セミナー
～夏インターン・仕事体験に向けた企業参画型イベント～ 久大 Summer Career Fair	筆記試験実践対策 ～言語・非言語Webテスト会～
採用担当者と考えの自己分析・職種選び研究会/座談会	インターンシップ・仕事体験 参加期間
障がい学生に対する就活セミナー	就勝フェス 2日間で就職活動の準備をワンストップで行います。書類対策を含め、面接に特化したプログラムもあり、ここから一気に就職活動に対する学生のモチベーションが上がります。
後期 就職ガイダンス	久留米大学 就勝フェス 学ぶ編
エントリーシート対策講座	履歴書・エントリーシート書き方講座 面接スタートアップ話し方セミナー
久留米大学 就勝フェス つながる編	久留米大学 就勝フェス つながる編
教員採用試験セミナー	就活本番直前講座
久留米大学 合同企業研究会	就活マナー講座 グループディスカッション対策講座



注目!



課外講座資格取得等表彰制度

就職・キャリア支援課主催の講座を受講し、指定の採用・資格試験に在学中に合格、申請した学生に対して受講料の一部を表彰金として還付する制度があり、毎年多くの学生がこの制度を利用し採用・資格試験に合格しています。

シリーズ医療



「高齢者見守りたい(隊)」は、高齢者や認知症患者さんの立場に立って考え、安全で穏やかな入院生活を実現するために生まれたチームです。現場の看護師たちの「その人らしく穏やかに過ごしてほしい」という熱い思いが詰まった取り組みをご紹介します。

患者さんの尊厳と安全を守る！ 「看護部発」高齢者見守りたい(隊)の挑戦

「尊厳を守る見守り」から始まった活動
高齢者や認知症の患者さんにとって、身体拘束は心身に大きな負担をかけ、尊厳を損なう可能性があります。患者さんの安全を確保するため、やむを得ず抑制が必要な場合もありますが、「できる限り尊厳を損なわず、快適に過ごしていただきたい」という現場の切実な願いから、「高齢者見守りたい(隊)」は2021年にスタートしました。

このチームは、老年看護の専門看護師を中心に構成され、2025年からは身体拘束等最小化チームのメンバーも参加しています。多職種連携が進む大学病院において、看護師が主導し、質の高いケアを追求する重要な取り組みの一つです。



看護部全体のスキルアップへ
この活動は、患者さんへのケア向上だけでなく、看護部全体の学びの場ともなっています。専門看護師がどのように患者さんを観察し、カルテから情報を読み解き、そして信頼関係を築くための「対話」を行うのかを、若手や他の看護師がOJT(実地訓練)として体験できる貴重な機会となっています。患者さんとの何気ない会話から、生活習慣を見直してせん妄を防げた成功事例も多く、「対話の重要性」が改めて認識されています。現在「高齢者カンファレンスガイド」の作成や「高齢者ケア便り」の発行など、この尊厳を守るケアの輪は、大学病院全体へと広がっています。



対話と観察で「小さな変化」を見逃さない
見守りたい(隊)は毎週月曜に各病棟を回り、患者さんの表情や生活リズムの変化を確認します。見守りたい(隊)の活動の核となるのは「丁寧な「対話」と「観察」です。高齢者がうまく表現できない身体症状や思いについて、病棟看護師と話合う時間を大切にしています。ラウンドをきっかけに病棟看護師間で情報共有も密になり、一人ひとりに合わせたきめ細やかなケアにつながっています。



大学病院 栄養部監修 アイデアレシピ

食べるチカラ!

ココット de 小籠包

材料 (8cmココット 3個分)

【ココット本体】	【飾り】
豚ひき肉..... 150g	いりごま
白ネギ(みじん切り)..... 30g	小葱
餃子の皮..... 3枚	
生姜チューブ..... 小さじ2	
醤油..... 小さじ2	
酒..... 小さじ2	
砂糖..... 小さじ1	
塩..... ひとつまみ(0.5g)	
鶏ガラスープの素..... 小さじ2	
ごま油..... 小さじ1	
水..... 1/2カップ(100cc)	

作り方

- 餃子の皮以外の材料をすべてビニール袋に入れよく揉む。
- 袋の端を切ってココットに絞り出す。
- 餃子の皮を水で濡らしココットの上からかぶせる。
- ふわっとラップをし、600Wの電子レンジで3分ほど加熱する。
- ラップを外し小葱といりごまを上から散らして完成。

鮭とキャベツのミルクリゾット

作り方

- 耐熱容器に鮭を置き、ラップをかけてレンジ(500W)で2分加熱する。粗熱が取れたらほぐす。
- キャベツを1cm角に切る。
- 器にご飯と★の調味料を入れ軽く混ぜ、上にキャベツとほぐした鮭をのせる。
- ラップをしてレンジ500Wで5分加熱する。
- 軽く混ぜ、ラップを外しレンジ(500W)で5分加熱する。
- 上から粉チーズをかけた後完成。

材料 (1人分)

ご飯..... 100g	★塩..... 少々
鮭..... 40g	★コショウ..... 少々
キャベツ..... 50g	★バター..... 2g
★牛乳..... 150ml	★粉チーズ..... 3g
★顆粒コンソメ..... 小さじ1	

レシピ開発者はこちら!

あおき くみこ
青柳 久美子 (写真左)

つづみ よしゆき
堤 良行 (写真右)

知っ得コラム

新生活の胃腸をいたわるセルフケア

医学部
内科学講座
消化器内科部門

かわぐち たくみ
川口 巧 主任教授



4月は進学や就職など、生活環境が大きく変わる季節です。期待に胸が膨らむ一方で、無意識のうちに緊張やストレスが積み重なり、自律神経のバランスを崩しやすい時期でもあります。胃腸は「第二の脳」と呼ばれるほど精神的な影響を受けやすく、胃もたれや腹痛などの不調が生じることがあります。こうしたときこそ、身体に負担をかけない消化に良い食事を心掛けることが大切です。温かく柔らかく調理した料理は消化管の血流を促し、栄養吸収を助けてくれます。

今月のレシピ「鮭とキャベツのミルクリゾット」は、新生活を支える一品です。キャベツに含まれる成分は胃粘膜を守り、鮭は消化しやすい良質なたんぱく質源となります。電子レンジで簡単に作れるため、忙しい日の食事づくりの負担を軽減し、心のゆとりにもつながるでしょう。

よく噛んでゆっくり食べること、そして身体を冷やさないことが胃腸を整えるための第一歩です。健やかな胃腸で、4月からの新生活を気持ちよくスタートしましょう。

Final Lecture

最終講義

本年3月末に定年退職された先生による最終講義
開催日順に掲載しています



医学部
感染制御学講座
わたなべ ひろし
渡邊 浩 教授

最終講義テーマ

今までなかったものを作り上げるチャレンジ

我々の周りにあるものは最初から存在した訳ではなく、誰かがチャレンジして作り上げ次に続く者が増えてきて出来上がったのだということを私の経験を通じて伝えたいつもりです。皆さんが将来チャレンジの機会が持てる医師に育つことを期待しています。



医学部
小児科学講座
すだ けんじ
須田 憲治 教授

最終講義テーマ

こどもの心臓病と Lifelong Cardiology

私はこれまで、胎児・幼児期から様々な心臓病を持った患者を診断・治療し、成長に関わってきました。これからの社会を支えるのはこどもたちです。今後も本学から多くの小児科医が生まれることを期待しています。



中学3年生による卒業論文・制作

附設中学では昭和55年度から「研究論文」の取り組みが始まり、平成元年度からは「研究」に限らず、各自の最も得意とする分野で取り組めるよう芸術分野も加わり「卒業論文・制作」となりました。生徒たちは自らテーマを選び、長い時間をかけ、努力を傾注して、成し遂げる厳しさと喜びを体験します。この経験で得た飽くなき好奇心、探求心が今後の彼らの学業および人生を強く推進していくための活力となっています。

令和7年度表彰者

学長賞(人文科学・地理公民)	伊藤 幸太郎
理事長賞(芸術)	井筒 珠希
校長賞(自然科学)	湧田 琉月
板垣賞(文学)	加藤 沙菜
小野寺賞(人文科学・歴史)	溝添 航生



医学部
薬理学講座
にし あきのり
西 昭徳 教授

最終講義テーマ

ドパミン研究に魅せられて～研究の道に導いてくれたもの～

小児科の臨床からドパミン研究へ進んだのは、恩師との出会いとアドバイスがあったからです。皆さんも出会いを大切に、困難をチャンスに変えて未来への力としてください。



医学部
内科学講座
(呼吸器・神経・膠原病内科部門)
いだ ひろあき
井田 弘明 教授

最終講義テーマ

バリエーションは人類を救う

14世紀のヨーロッパ人の多くがペスト菌によって死滅した一方、MEFV変異(バリエーション)を持ったヒトが生存に有利であったことは、家族性地中海熱患者に勇気を与えました。患者さんは決して弱者でも差別されるものでもありません。リスペクトを持って接してください。



整形外科・
関節外科センター
(医療センター)
おおかわ たかひろ
大川 孝浩 教授

最終講義テーマ

整形外科医の闘い方～骨・関節よみがえりへの挑戦～

骨関節の構造・機能を再生維持することは健康寿命の延伸にも直接つながる。個人的闘病生活から鑑みた、個々の症例に真摯に、真剣に対峙するべく、整形外科医としての「闘い方」について講演させていただきました。



保険診療管理部
うしじま こうすけ
牛島 高介 教授

最終講義テーマ

ポリバレント～久留米大学での40年～

自由闊達に挑戦させていただける環境のもと、多くの職員の皆様に支えられながら、「ポリバレント」な40年を過ごすことができました。久留米大学、そして共にお力添えくださったすべての久留米大学職員の皆様に、心より感謝申し上げます。



法学部
あら い いさお
荒井 功 教授

最終講義テーマ

政治的相互関係における認識と論理を求めて

国際政治研究にはさまざまなアプローチがあります。自らの研究の軌跡を振り返りながら国際政治を理解する方法について拙論をお話しました。これまで学究生活を支えてくださった先輩、同僚、学生のみなさまに感謝いたします。



医学部
環境医学講座
いしなげ たつや
石竹 達也 教授

最終講義テーマ

社会とつながる医師を育てる～環境医学とともに歩んだ40年～

久留米での40年は、多くの人に支えられ、学び続けた日々でした。環境医学を通じて社会と向き合った経験を、これからの学生の皆さんが、自ら考え行動する力として受け継いでくれることを願っています。



寄付者ご芳名 (敬称略・順不同)

一般寄付
■1,200,000円
 久留米大学校友会
■500,000円
 一般財団法人久留米大学愛恵会
■200,000円
 医療法人表心会 小島居病院
 理事長 小島居 衷
■120,000円
 医療法人正友会 松岡病院
 理事長 松岡 稔昌
■100,000円
 株式会社オケイオス
 他匿名1件
■91,520円
 ふくのわ
■80,000円
 山下医科器械株式会社 筑後支社
■30,000円
 チャイナエアライン 福岡支店
■20,000円
 東京海上日動火災保険株式会社
■10,000円
 横倉 義武
 坂本 祐一
 株式会社sug
■5,500円
 株式会社八恵堂
■3,000円
 南国食堂
■2,500円
 井手 義博
■1,500円
 株式会社たけ屋
 株式会社平野不動産
■1,000円
 田所 優一
 手打ちそば・うどん めん棒
 リサイクルショップハート

木村登循環器学研究基金
■100,000円
 医療法人聖峰会 田主丸中央病院
 理事長 鬼塚 一郎

古本募金
■41,800円
 つなぐ書店

新時代を拓く久留米大学募金
■600,000円
 古賀 万理
■100,000円
 株式会社佐電工
 他匿名1件
■50,000円
 知花 英俊
■30,000円
 鬼塚 陽子
 佐藤 清美
 小楠 美帆
■22,000円
 山本 真司
■20,000円
 石川 和彦
■10,000円
 森光夏那子
 松田 まゆみ
 成清 芳典
 鳥袋 孝智
 池永 隆司
 安河内秀文
 矢敷 敦
 伊元 九弥
 森永理一郎
 中原 將
 他匿名11件
■9,000円
 川崎美保子
■5,000円
 行武 啓昌
■6,000円
 白石 千穂
 他匿名1件

■1,394円
 匿名1件

医学部医学科教育振興資金
■1,000,000円
 徳田賢太郎
 他匿名1件
■50,000円
 匿名1件
■30,000円
 匿名1件

文学部教育研究振興資金
■10,000円
 江頭 大亮

人間健康学部教育研究振興資金
■10,000円
 前原美由紀

法学部教育研究振興資金
■100,000円
 小磯 早苗

商学部教育研究振興資金
■10,000円
 鳥袋 孝智

久留米大学附設教育振興基金
■50,000円
 植村 宙
 峯 直樹
■30,000円
 安田 ちえ
 他匿名1件
■20,000円
 山本 紀子
 他匿名1件
■10,000円
 黒木 利孝
 平川 博将
 他匿名3件
■3,000円
 匿名1件

久留米大学附設記念事業募金
■30,000,000円
 久留米大学附設高等学校同窓会
■1,000,000円
 植田清一郎
 浅枝 謙太
 英進館株式会社
■200,000円
 原口 聖
■100,000円
 井川 肇
 福田 友幸
 洲上 明弘
 吉田 史章
 緒方 哲朗
 植木 正光
 上野 高史
 中原 充晴
■50,000円
 植村 宙
 片山 康平
 矢野 博久
 片山 大河
 千葉 弘胤
■30,000円
 廣重 憲一
 増田 信幸
 山本 紀子
 富田 壽嗣
 森光 大輔
■25,326円
 22回生
 古希祝賀会参加者一同
■25,000円
 森田 喜文
■20,000円
 生雲 宏
 香月 拓郎

金子 亮大
 坂本 篤彦
 宮ヶ原 典
 和田麻里子
 本松 修
 田中 慎一
 鳥谷 康行
 中村聡一郎
 安田 ちえ
 平安名盛也
 他匿名1件
■10,000円
 久高 学
■10,000円
 畑邊 建斗
 他匿名5件

久留米大学創立100周年記念事業募金
■10,000,000円
 久留米大学医学部同窓会 筑紫支部
 社会医療法人天神会
 理事長 古賀 伸彦
■1,000,000円
 横倉 義武
 坂本 菊男
 神代 正道
 植田清一郎
 蓮澤 浩明
 上田 匡
 久留米大学医学部同窓会 鹿児島支部
 久留米大学医学部同窓会 田川支部
 久留米大学医学部同窓会 直鞍支部
 社会医療法人愛育会 福田病院
 理事長 福田 綱
 医療法人向坂内科クリニック
 管理者 向坂 健男
 医療法人コミュニテ風と虹
 理事長 堀川 公平
 他匿名2件
■500,000円
 飯屋 純人
 北川 桂二
 久留米大学医学部同窓会 門司支部
 他匿名1件
■300,000円
 西土 純一
 庄司 紘史
 遠迫 克英
 山田 篤伸
 山本 秀雄
 医療法人健耳会
 理事長 蒲地紳一郎
 株式会社和田設計
■200,000円
 田中 孝明
 医療法人社団鳥巢病院
 理事長 鳥巢 正吉
 医療法人田中会
 理事長 田中 正規
■150,000円
 柳田 敏孝
■100,000円
 角間 辰之
 江口 敏
 西原 武秀
 向井 泰文
 中島 洋子
 漆山 成希
 奥村 宏
 江崎 修市
 関本 大樹
 山下裕史朗
 田中 地平
 鹿毛 政義
 久木原 昇
 池田 礼子
 石本 聖一
 川邊 貴光
 古賀 健一
 古賀 万理
 高橋 衣里
 松岡 満照
 嶺 新一
 三橋 睦子

白石 正一
 古賀 真理
 原園 浩司
 山崎 法子
 西岡 祥子
 藤本 公輝
 前田 孝
 他匿名3件
■10,000円
 赤木 慎治
 瀧川 和也
 富田 一
 伊集院陽子
 松浪 芳久
 後藤 博史
 時枝 政男
 樋口 邦男
 磯本 浩晴
 井上 力
 大島 文雄
 梶原 取功
 川田 尚二
 倉田 光雄
 斎藤 純一
 添島 國統
 高田 征尚
 田中 潔
 田中 雅治
 中島 康成
 西原 貴二
 橋本 武夫
 堀 信泰
 三宅 弘
 諸隈 一徳
 熊本 真純
 諸喜田千恵子
 篠原 康明
 戸上 兼作
 森永理一郎
 八木原裕美
 中村 大輔
 佐々木見子
 住吉 康平
 内田 信治
 佐藤ひかる
 中村 悟
 西村 祐一
 福島 厚
 山口 航輝
 濱田 祐嗣
 山口 るみ
 高木 麻衣
 篠原 雅和
 丸田 昇次
 小野 優佳
 工藤 正行
 手島 正信
 山本 弘
 野間 圭介
 日高 亮一
 藤田 和麿
 安達 正
 医療法人片山医院
 理事長 片山 幸樹
 他匿名13件
■5,000円
 石川 良道
 井原 好朝
 他匿名1件
■2,000円
 井手口大騎
■1,000円
 匿名1件

事務室からのお知らせ

奨学金を希望する学生の皆さんへ

奨学金制度は、学修意欲のある学生に対して、学費や生活費を給付または貸与することにより、経済的負担を軽減するための制度です。奨学金を利用すれば、経済的な不安から解放され、より安心して勉学に専念することができます。奨学金の種類や資格基準(学力・家計基準)など詳しい情報は大学ホームページをご覧ください。

なお、奨学金に関する重要なお知らせは、各キャンパスのポータルサイトや掲示板などにて行います。必ず確認してください。

履修登録および授業開始について(文系学部)

履修登録は1年間の授業計画(時間割)を決定する重要な手続きです。詳しくは大学ホームページをご確認ください。

	履修登録関連日程	授業開始
1年生(文系)	4/2(木)~4/7(火)	4/10(金)
2~4年生(文系)	3/12(木)~3/22(日) ※13(金)午後、16(月)~18(水)を除く	4/10(金)

後援会(文系学部)総会などのお知らせ

文系学部の保護者を対象に総会、個人面談、就職説明会などを実施しています。また、学業成績・人物共に優秀な学生を選考して表彰する特待生・優等生表彰制度の表彰式も行います。保護者の皆さまには5月中旬に開催のご案内を発送する予定です。また、開催のお知らせは大学ホームページにも掲載いたします。

※令和6年6月29日付で父母の会から後援会へ名称変更しました(文学部・法学部・経済学部)。※社会情勢に伴い、延期や中止となる可能性があります。

奨学金担当窓口

文系学部/学生課 0942-44-2712
 医学科/医学部事務部教務課 0942-31-7528
 看護学科、医療検査学科/
 看護・医療検査学科事務室 0942-31-7714

※履修登録が終わったら、その場で必ず時間割を印刷してください。
 ※1年生は4月中旬に履修科目の変更が可能です。
 ※2~4年生は原則として後期の履修登録変更(9月)まで変更できません。

履修登録に関するご相談

教務課窓口にて(平日8:50~17:20)
 ※履修登録に関するメールや電話での問い合わせは受け付けておりません。

日程 2026年6月20日(土)
会場 久留米大学御井キャンパス

個人面談 9:30~
 表彰式 13:00~
 総会 表彰式終了後
 保護者のための就職説明会 15:00~
【お問い合わせ】庶務課0942-44-2066


「山田收久留米大学整形外科学研究助成基金」を創設

令和7年2月にご逝去されました本学医学部卒業生の故山田 收様(昭和29年卒)のご遺族様より、令和7年12月9日、本学の整形外科分野における教育、研究等への支援を目的として、多大なるご寄付を賜り、「山田收久留米大学整形外科学研究助成基金」を創設しました。また、同年12月11日には、本学の医学教育の充実のため、バーチャル解剖台(Anatomage Table Convertible)の購入費用をご寄付いただきました。

故山田 收様は、生前より、本学の医学部及び整形外科学講座の発展をいつもお気にかけてくださっており、この度ご遺族様より故人のご遺志を引き継がれ、寄付という形でご支援をいただきました。賜りましたご厚意を将来にわたり永く、教育・研究のさらなる発展と地域医療への貢献に最大限に活用させていただきます。ここに改めまして、山田 收様の生前のご厚情とご遺族様のご支援に深く感謝の意を表します。



(2025年11月~2026年1月までを掲載)
 掲載は、本学での入金確認に基づいております。
 ※クレジットカード等決済でのお申込み及び受配者指定寄付金をご利用の場合は、お申込み日から入金確認まで2~3ヶ月を要することをご理解下さい。



久留米大学
 創立100周年
 記念事業基金

附設中学校・高校

科学の甲子園ジュニア全国大会で 附設中チームが6位入賞

福岡県代表として出場した附設中チームが、総合成績6位、筆記競技5位と健闘。県勢10年ぶりの入賞という快挙を成し遂げました。各競技で高い科学力を示し、全国にその名を轟かせました。



学生の活躍

人気ベーシストMINAさんと 器楽部の学生が特別セッション

NCC長崎文化放送の「トコサタ」番組内のコーナー「MINAはエレキベースと旅したい」に器楽部の学生が出演。East Of EdenのベーシストMINAさんとソロアルバム『愛楼』収録曲「君がいねした」を御井キャンパスの



大学の取組み

春のオープンキャンパスを開催

3月20日、文系5学部志望者を対象としたオープンキャンパスを開催しました。約500名の高校生や保護者が来学し、模擬授業や在学生による座談会、学内キャンパスツアーなど、実際のキャンパスの雰囲気を感じていただきながら、大学生活の魅力や直接届ける機会となりました。



大学の取組み

令和7年度 久留米大学卒業式を開催

3月23日、御井キャンパスみいアリーナにて大学卒業式が執り行われ、6学部13学科の卒業生が学び舎を巣立ちました。晴れの日を迎えた皆さんの新たな門出を、心よりお祝い申し上げます。



人間健康学部

学生主体で「健康づくり運動講座」を開催 地域の健康を支援

健康運動指導士を目指す「KENUNゼミ」の学生が、企画から運営までを自ら担当し講座を実施。ストレッチやエアロビクスなど、工夫を凝らしたプログラムで地域住民と交流し、実践的な指導力を磨く貴重な機会となりました。



法学部

多文化共生を考える 「移民社会の暮らしかた」を開催

2月28日、比較文化研究所比較法・政治研究部会主催のシンポジウム「移民社会の暮らしかた」が開催されました。県内でも増加する移民および外国人の受け入れをめぐる諸問題をテーマに、現場を知る多様な立場から現状報告が行われました。リアルな声を通じて、多文化共生社会のあり方や、日本人と移民が共生するために必要な知恵を探る貴重な時間となりました。

経済学部

産学連携「ベスタ埋めたい プロジェクト」目標を達成

学生が、㈱エイジックおよび県内4大学と連携した「ベスタ埋めたいプロジェクト」を実施。福岡県南部からの集客増を目指し、協賛活動やチケット販売に取り組み、アビスパ福岡のホーム最終戦で今季最多の来場を達成しました。



商学部

近江ゼミ 「物流×産学連携プロジェクト」 最終報告会を開催

近江ゼミでは、物流業界の人手不足や労働環境の課題をテーマに、コクヨサプライロジスティクス㈱・久留米運送㈱と連携した「物流×産学連携プロジェクト」を実施。最終報告会で学生が課題解決に向けた提案を発表しました。



医学部医学科

「みやき脳活ツアー」で野村病院院長が 糖尿病予防をテーマに講演

みやき町との包括連携協定に基づき、健康増進事業「脳活ツアー」を2025年10月より全6回の予定で市村清記念メディカルコミュニティセンターにて開催しています。各回では本学から講師を派遣し、1月の第4回目では、野村政壽病院院長が糖尿病と健康寿命について講演しました。本学の専門知識を通じて地域の健康づくりへの理解を深める貴重な機会となりました。

医学部看護学科

韓国・建陽大学と短期研修 看護学科・応急救助学科の学生と 医療を議論

学術交流協定に基づき、建陽大学の学生10名を迎えた短期留学プログラムを実施しました。本学学生と留学生は、日韓の医療制度の違いや健康問題について議論を深めました。大学病院の見学や文化体験を通じ、異文化理解を深めるとともに、将来の医療人としてグローバルな視点を養う貴重な機会となりました。

臨床検査専門学校

臨床検査専門学校が閉校 58年の歴史を医療検査学科へ継承

1968年の創立以来、多くの臨床検査技師を輩出してきた医学部附属臨床検査専門学校が、3月6日に最後の卒業式と閉校式を執り行いました。今後は令和6年度に新設された医学部医療検査学科がその役割を発展的に引き継ぎ、次世代の医療を支える人材育成に努めます。

文学部

文医融合「ほとめきプロジェクト」 医療センターのキャラクターグッズを制作

情報社会学科が医療センターと連携するプロジェクト授業で、医療センター病院長や看護部、栄養室などの理念を可視化したキャラクターを制作し、シールと缶バッジに展開しました。今後患者さんとの交流ツールとして活用されます。



大学病院

「こどもシゴト博」に大学病院が出展 医療の仕事を経験

久留米シティプラザで開催された職業体験イベントに看護部が協力。イベントには約1,100人の親子が来場し、本学ブースでは聴診や脈拍測定などを実施しました。白衣姿で真剣に取り組む子どもたちの笑顔が溢れる一日となりました。



就職・キャリア

優良企業等180社が集結 「学内合同企業研究会」を開催

2月3日・4日の2日間、みいアリーナで「学内合同企業研究会」を開催。企業・団体あわせて180団体が参加し、3年生を中心に1・2年生も含め2日間で800人を超える学生が来場しました。



大学病院

デイケアセンターで 「身だしなみ講座(資生堂ライブ クオリティセミナー)」を実施

デイケアセンターにて、資生堂による「身だしなみ講座」を実施。当日は、男女それぞれ別の部屋に分かれて、第一印象の大切さ、肌づくりや眉の整え方、メイクのポイントなどについて、丁寧にレクチャーしていただきました。



学生の活躍

KURUMEビジネスコンテストで 学生がアイデア賞

若年層向け創業人材育成プログラム「START-K」が主催する「KURUMEビジネスコンテスト」に商学部4年の大倉聡一郎さんが出場しました。最終審査は筑邦銀行本店で行われ、魚久賞を受賞しました。



大学の取組み

佐賀県鳥栖市と包括連携協定を締結 地域資源を活かした教育研究と健康づくりで相互発展へ

2月26日、佐賀県鳥栖市と包括連携協定を締結しました。自治体との協定は12例目です。同市とはこれまで保育実習や文化財保護等で協力してきましたが、今後はデジタル人材育成や地域活性化をテーマにした新授業での連携、医学部による健康教室の開催など、予防医療や教育の分野で交流を深化させます。本協定により、学生の学びの場を広げるとともに、市の魅力発信や地域振興に大きく寄与する新たな活動の展開が期待されます。



研究

上田泰己教授らの研究が「Cell」に掲載 世界初の「全身全細胞アトラス」を構築

上田泰己特別招聘教授らの研究グループは、臓器や全身の全細胞を網羅する3次元地図「CUBICアトラス」を構築しました。独自の組織透明化技術と撮影技術を駆使し、従来困難だった細胞レベルでの全身一括解析を実現。個体ごとの細胞分布を同一基準で比較可能にしました。本成果は、病気の仕組みの解明や次世代の病理診断、創薬研究を大きく加速させる画期的な基盤技術として、世界的な科学誌「Cell」に掲載されました。



Cell

研究

第34回福岡県医学検査学会にて 最優秀演題賞・症例報告賞を受賞

第34回福岡県医学検査学会にて、久留米大学医療センターの森上優子技師が心電図検査の精度管理の試みで最優秀演題賞を受賞しました。大学病院の古江由佳技師は希少な心臓悪性リンパ腫の症例解析を報告し、最優秀症例報告賞を受賞しました。この成果の背景には、若手の挑戦を支え、部門を超えて精度向上を追求する本学の「チーム力」があります。個々の真摯な研究姿勢と組織的な技術研鑽が結実し、臨床検査部門の質の高さを改めて示す機会となりました。



森上優子さん



古江由佳さん

久留米大学創立100周年記念事業募金

ORIGINAL GIFT CAMPAIGN

寄付御礼キャンペーン開催中!

1口20,000円以上のご寄付をされた個人の方を対象に、**本学オリジナルスポーツタオル**を進呈いたします。



(たて20cm×よこ110cm)

詳細につきましては、創立100周年記念事業募金HPのお知らせ欄よりご確認ください。



詳細はこちらから

- キャンペーン期間/令和8年2月1日～令和8年7月31日まで
- お手続きについて/QRコードより、注意事項をご確認のうえお申込みください。

【問い合わせ先】

久留米大学 募金事務局(総合企画部 総合企画課内) 〒830-0011 福岡県久留米市旭町67番地
TEL/0942-31-7530(募金事務局直通) E-mail/kikin@kurume-u.ac.jp

受講者申込受付中

2026年度 久留米大学

公開講座

久留米大学は「知の拠点」として、本学の学生のみならず、広く社会へ生涯学習を通じた学びの場を提供しています。



詳細はこちらから

第4回 久留米大学ホームカミングデーのお知らせ



本学では、同窓生の皆さまを母校へお迎えし、現在の久留米大学を知っていただくと共に、恩師やご友人と交流を深めていただく機会として「第4回久留米大学ホームカミングデー」を下記のとおり開催いたします。是非ご参加ください。

日時

2026年9月6日(日) 12時～17時
(受付・ウェルカムドリンク:12時～13時)

招待者

本学卒業生および大学院修了者
(専門学校卒業者も含む。ご家族の同伴可。)

場所

旭町キャンパス 筑水会館
(久留米市旭町67番地)

参加費

無料

内容(予定)

- 講演会
「がんを防ぐ運動療法」
本学医学部整形外科学講座 平岡 弘二 教授
「仲間といまを共に生きる: 幸せの秘訣」
本学文学部心理学科 安永 悟 教授
- 本学医学部管弦楽部による演奏
- キャンパスツアー
- 創立100周年募金寄付コーナー
- 古本募金の受付…他

参加申し込み

6月1日(月)より、本学ホームページにてお申込みの受付を開始いたします。

本学ホームページURL
<https://www.kurume-u.ac.jp/>



詳細はこちらから

※おおよそ6歳以上のお子様を対象に、託児を設ける予定としております。(事前申込制)
※その他詳細につきましては、決定次第、本学ホームページにてお知らせいたします。

【問い合わせ先】 久留米大学総合企画部総合企画課 TEL/0942-27-6343 FAX/0942-31-7866 E-mail/sougoukikaku@kurume-u.ac.jp



学生及び教職員の皆様は入館無料

久留米大学は、久留米市美術館のキャンパスパートナー校です

【対象施設】
久留米市美術館、石橋正二郎記念館



開館時間/10時～17時
(入館は16:30まで)
休館日/月曜日
(祝日・振替休日は開館)



【対象者】
学部生、大学院生、教職員
※美術館受付で、学生証等をご提示ください
※久留米市美術館主催展覧会は高校生以下無料

WEBアンケートにご協力ください

読者の皆様からのご意見、ご感想をお待ちしております。いただいたアンケートの内容は今後の誌面づくりに活用させていただきます。



アンケートはこちらから

読者プレゼント アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で5名の方にプレゼント

今回のプレゼント
ちょっぴり嬉しいお小遣い
全国で使える
「QUOカード1,000円分」



応募締切/2026年5月17日
※当選者の発送は、商品の発送をもって代えさせていただきます
※応募の際の個人情報は、商品の発送と誌面づくりの参考としてのみ使用いたします

第15回

SDGs × 久留米大学

持続可能な社会の実現に向けて
大学が取り組むプロジェクトを紹介します!

地域がつながる!
空き家活用をきっかけとしたまちづくり



増え続ける空き家は、多くの地域が抱える課題の一つです。経済学部文化経済学科・富吉ゼミには、空き家活用を通して持続可能なまちづくりを学ぶチームがあります。2月には大学近くの学生向けシェアハウス「ウメニワ」で雨戸のDIY塗装ワークショップを開催しました。学生たちが目指しているのは、景観を整えることにとどまらず、DIYをきっかけに世代や立場を越えて人がゆるやかにつながる場を生み出すこと。地域にわたるコミュニティを育てるまちづくりです。

参加者へ作業手順を説明



子どもたちも楽しみながら塗装に挑戦

協力しながら雨戸を塗装する参加者たち



世代を超えた参加者が集い、地域の輪が広がりました



第15回

まちとアルK



まちなかで見た久留米大学の姿を広報室がレポートします!

日本へようこそ!



久留米大学は、アメリカ、アジア、ヨーロッパなど世界各地の大学と協定を結び、学生の留学や研修を支援している。今年も、協定校の一つであるカナダ・アケイディア大学から学生たちがやってきた。春休みが始まった御井キャンパスに、軽やかな英語の響きが混じり合う。



私も撮影班として、彼らの八女フィールドトリップに一日同行した。まちを歩いていると、近所の小学生が「Hello! I love you!」と元気な声を投げかけてくる。少し照れながら、けれど弾けるような笑顔で応える研修生たち。なんだか、国際交流してる! って、ファインダー越しに感じる瞬間。手すき茶畑でポストカードを作り、酒蔵で日本酒を味わい、どこまでも続く茶畑の緑に目を輝かせる。日本の風景に彼らが佇むだけで、どこを切り取っても絵になる。そんな光景を前に、気づけばいつもよりたくさんシャッターを切っていた。



季節はちょうどひな祭りの頃。かわいらしいひな飾りに心をときめかせ、最高級の日本酒やお茶を口に含んだときの、あの表情は世界共有。「おいしい!」「素敵!」「素晴らしい!」—そのまっすぐな言葉が、胸にじんわり広がる。日本のこと、いつも暮らしているこの場所のことを褒めてもらえる、こんなにうれしいんだと気づいた1日。取材で何度も訪れている八女なのに、今日は少しだけ違って見える。そんなことを思った1日でした。日本へようこそ。(K.A)

